



Design

～地域包括ケア病棟から地域をデザインする～

発行元：地域包括ケア病棟“彩り”・リハビリ科・地域医療連携室

地域包括ケア病棟広報誌Design号外16号です。表面は、CS（ケア・サポート）セットのお知らせです。裏面は、老健やましろからのお知らせです。

(地域医療連携室 室長 南出 弦)



CS（ケア・サポート）セットについて

～ ご家族のご負担が軽減できます ～

今年3月より、CS（ケア・サポート）セットの取り扱いを始めました。CSセットは、入院の際に必要な衣類・タオル類・日用品・紙おむつ類を日額定額制のレンタルでご利用頂けるサービスで、ご利用を希望の患者さんは、業者と契約して頂きます。

*

<メニュー> (2019年3月現在)

① CSプラン 498円（税抜）/日

衣類（甚平・浴衣・介護ねまき）

タオル類（バスタオル・フェイスタオル・おしぼりタオル）

② タオルプラン 425円（税抜）/日

タオル類（バスタオル・フェイスタオル・おしぼりタオル）

③ 紙おむつプラン 485円（税抜）/日

紙おむつプランのみのご利用はできません。①又は②のプランと併せてお申し込み下さい。

※ ①又は②のプランをご利用の方は、必要に応じてBOXティッシュや割り箸、プラスチックスプーンなども必要に応じて使用可能です。

*

介護者の負担軽減や介護者の急な入院に伴うご入院が多い地域包括ケア病棟“彩り”では、CSセットをご利用頂くことで、ご家族のご負担が軽減できます。地域の皆様におかれましては、患者さんやご家族に地域包括ケア病棟“彩り”利用についてご説明の際、CSセットのご説明も併せてして頂けましたら、幸いです。CSセットの詳細につきましては、地域医療連携室（担当：中野・中嶋）までお問い合わせ下さい。

(地域医療連携室 ソーシャルワーカー 中野 明子)

夏期休暇中の受け入れのご案内

地域包括ケア病棟“彩り”では、夏期休暇のため、一時的に在宅医療が途切れる場合などに受け入れをさせて頂いております。お気軽にお問い合わせください。(中野・中嶋)

電話：0774-73-1818

老健やましろより

～『何かしたいことはありますか?』～

先日、京都山城総合医療センターの地域包括ケア病棟“彩り”から、103歳の女性の利用者様の受け入れをさせていただきました。103歳とは思えないほどお元気で、しっかりされています。

老健入所前の面談時、私達支援相談員は、利用者様の病気のことやADLの状況、生活歴等について確認をさせていただくのですが、もうひとつ、必ず聞き取りを行っていることがあります。

『何かしたいことはありますか?』



この質問をすると、「この歳になったら何もしたいことはありません。何もできません。」との答えが返ってくることも多いのですが、その利用者様は、迷わず「入院中にアイスクリームを食べられたから、次は、つめたく冷やしたさくらんぼが食べたい。」と答えられました。“つめたく冷やしたさくらんぼ”という表現も大変素敵ですし、103歳になっても“今回はこれが出来たから次はこんなことがしたい”という意欲を持っていることが、何よりも元気の秘訣なのではないでしょうか。

他の利用者様のご希望の中には 時には実現困難と思われるものもありますが、実現の可否ではなく、「何かをしたい」という思いを持ち続けていただけるように、これからも利用者様の自立を支援していければと思います。(老健やましろ 管理担当部長 三村 裕子)

地域医療連携室より

～ 令和から昭和、昭和から平成、平成から令和へ ～



ゴールデンウィーク、実家に帰省していた際、メンコが出てきたので、童心にかえって小学生の息子とメンコで遊びました。小学生の頃、日が暮れるまで友人とメンコで遊んでいた記憶が蘇りました。そして、令和の時代に昭和の時代の遊びは息子にとって新鮮だったようです。

さて、4月より週2回、老健やましろに出向き、組合としての動きを模索しています。フロアにも足を運び、入所者の方々から、入所されてからの感想や入所者ご自身の話を拝聴しています。歩んでこられた人生のお話をお聴きし、戦時中や戦後の、決して平坦ではない歩んでこられた道を思うと、先達のご苦労の上に現在の我々の生活があるのだと身が引き締まる思いです。そして、おこがましくもありますが、歩んでこられた道を、未来につなげることが我々の役割ではないかと思っています。



4月から立ち上げた地域包括ケア会議は、自由な発想で新たな取り組みを考える会議ですが、先達が歩んでこられた道の、未来へのつなぎ方を会議のメンバーで模索していきたいと思っています。(地域医療連携室 室長 南出 弦)